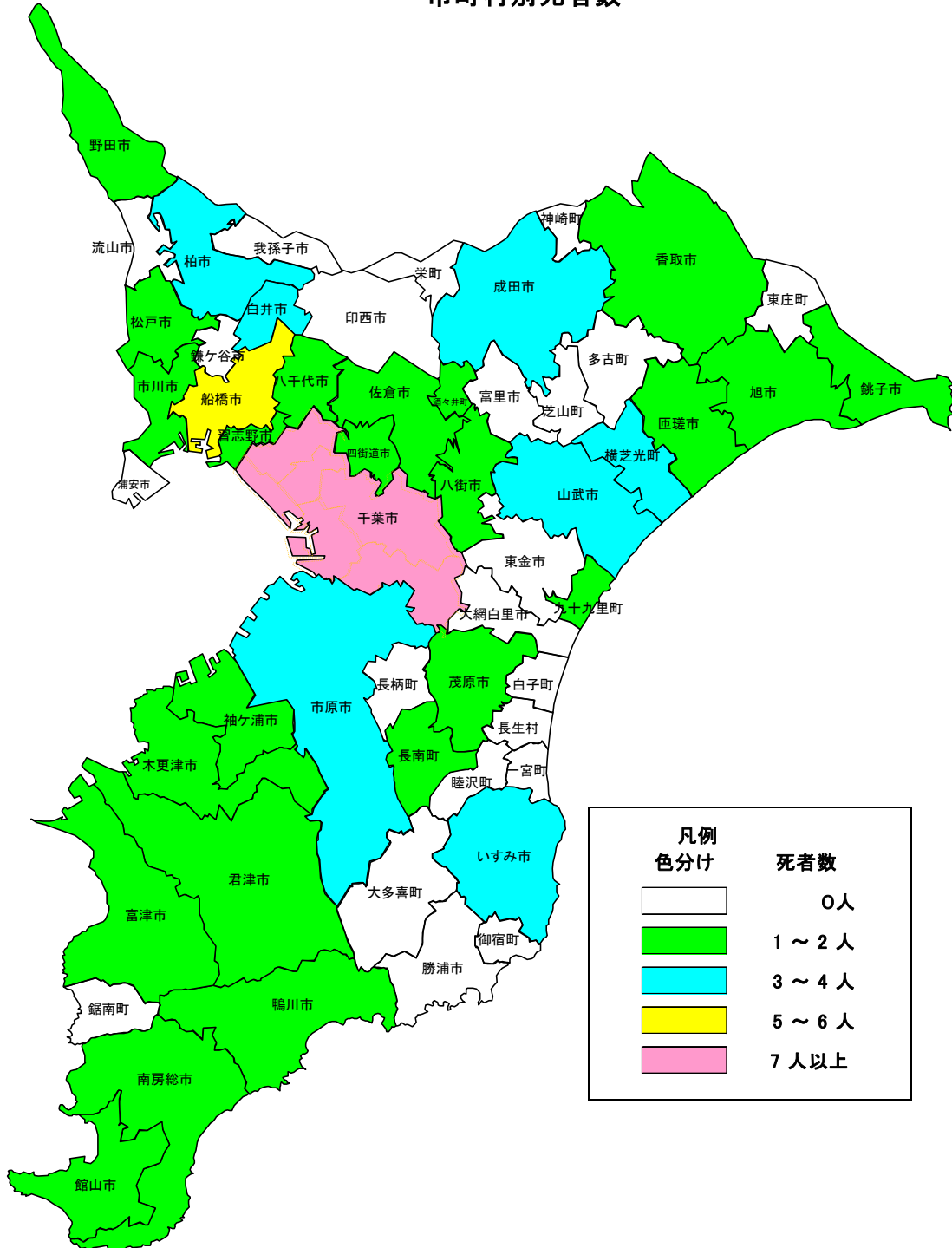


令和5年中の高齢者交通死亡事故発生状況（詳細）

1 市町村別死者数

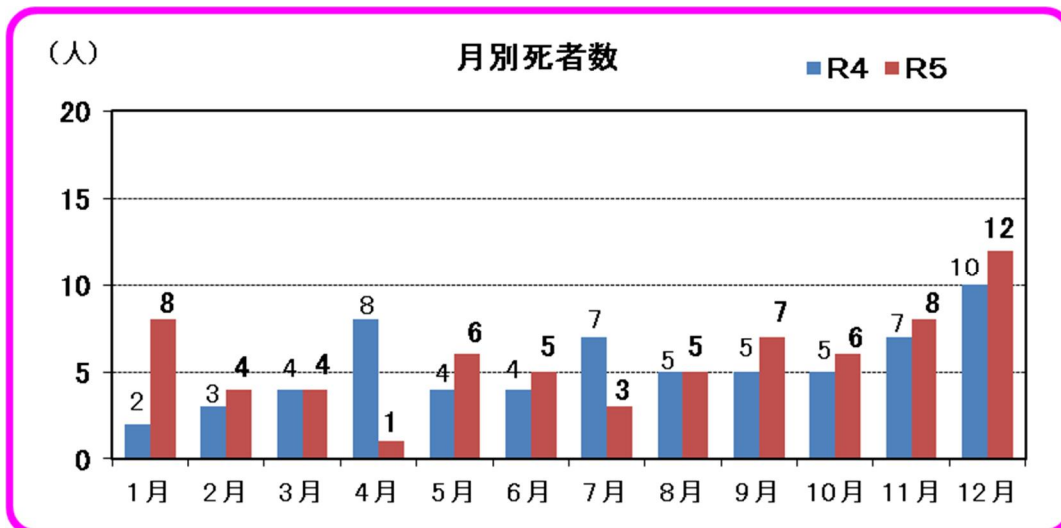
市町村別死者数では、千葉市での死者数（8人）が最も多くなっています。次いで、船橋市の死者数（6人）が多くなっています。

市町村別死者数



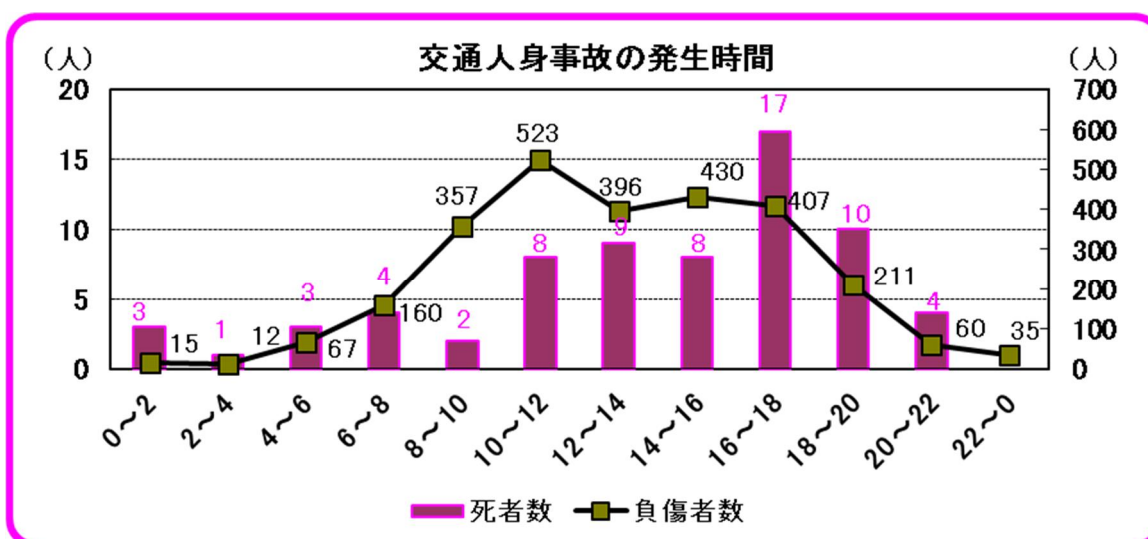
2 月別死者数

月別死者数では、12月の12人（17.4%）が最も多くなっています。



3 交通人身事故の発生時間

交通人身事故の発生時間では、死者数は16時～18時が最も多く、負傷者数は10時～12時が最も多くなっています。

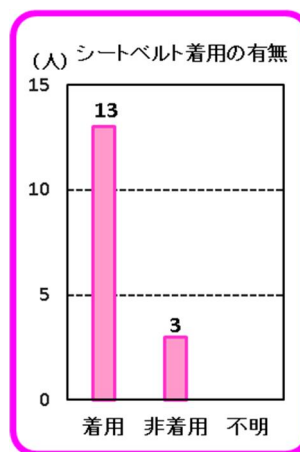
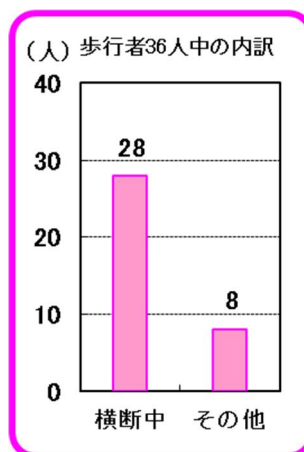
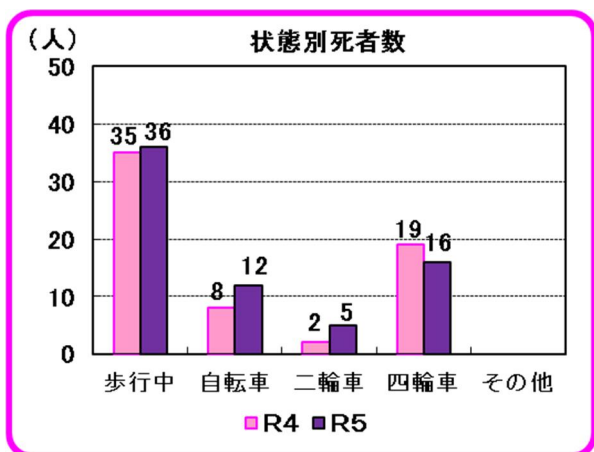


4 状態別死者数

状態別死者数では、歩行中の事故で亡くなった方が、高齢死者69人中36人（52.2%）と最も多く、次いで四輪乗車中16人（23.2%）、自転車乗用中12人（17.4%）、二輪乗車中5人（7.2%）の順となっています。

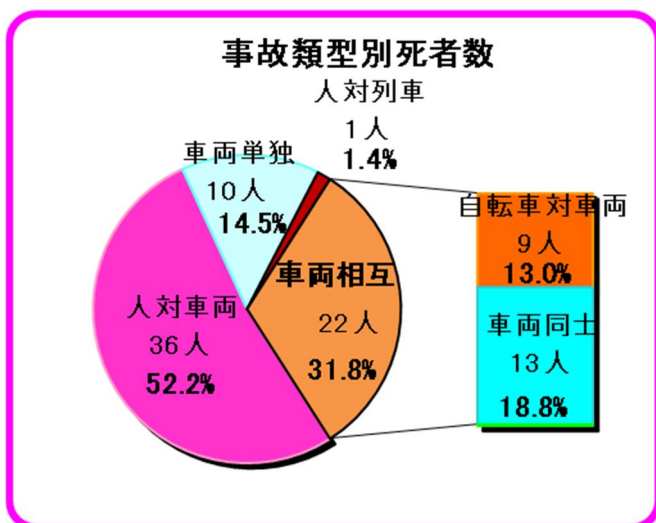
また、歩行中36人のうち28人（77.8%）が、道路横断中の事故で亡くなっています。

シートベルト着用の有無では、四輪乗車中の事故で亡くなった方の約2割（16人中3人、18.8%）がシートベルトを着用していませんでした。



5 事故類型別死者数

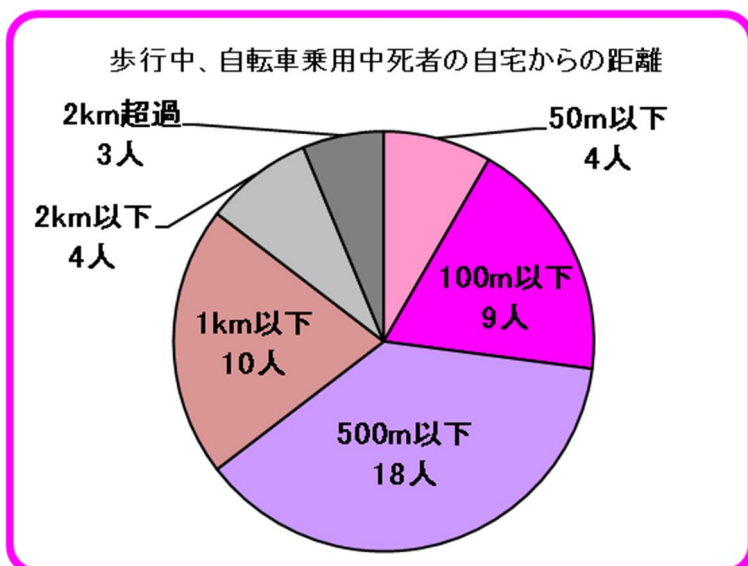
事故類型別死者数では、人対車両が最も多く、全体の5割以上（36人、52.2%）を占めています。



※ 構成率は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計は100%とはなりません。

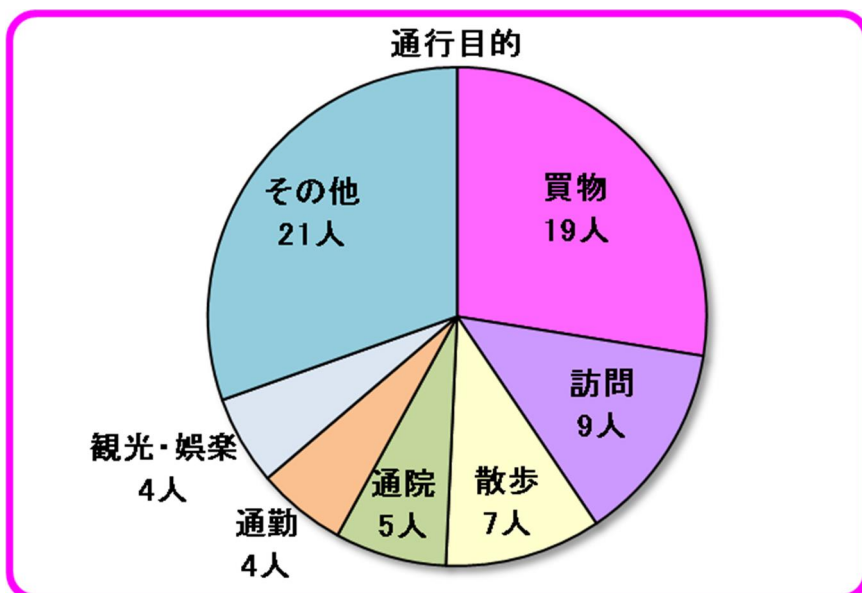
6 歩行中、自転車乗用中死者の自宅からの距離

歩行中、自転車乗用中死者の自宅からの距離は、自宅から500メートル以下（50メートル以下、100メートル以下及び500メートル以下を含む。）が、48人中31人と約6割（64.6%）を占めています。



7 通行目的別の死者数

通行目的別の死者数では、買物が最も多く19人となっています。



※「その他」は、業務中、疾病徘徊、調査不能等です。